

回路開発費不要!!
(ソフト費は別途ご相談)

設計データの
販売もできます。

何かあったら
メールでお知らせ

IoT

つながる
WiFi
WiFit
知らせる

WiFiにつないで、メールの設定をするだけ!

Case
01



材料切れを検出して、すぐさま補充。メールがあるまではゆっくりお茶でも。

Case
02



機器異常が発生時には、お客様より早く気づいて素早い対応を!

Case
03



防犯用としての応用も可能! 漏電や侵入者を素早くお知らせで安心安全。

項目	仕様
発報条件	起動発報、定時発報、イベント発報
トリガ条件	ON 時、OFF 時
イベント機能	タイマー機能 (チャタリング防止)、マスク機能 (多重発報防止)
メールアドレス登録数	4
動作確認済み	Gmail
アクセスパスワード	設定可能
設定端末	PC、スマホ、タブレット等 (ブラウザ)
WiFi 規格	IEEE 802.11b/g/n

電源電圧	DC3.3V もしくは、DC4.75 ~ 36V
入力信号	4ch 3.3 ~ 36V 有電圧接点 もしくは、無電圧接点
外部電源出力	3.3V100mA MAX
表示 LED	電源 (緑)、通信 (赤)
モード切替 SW	BOOT (ダブルクリックでアクセスポイントモード、長押しで設定初期化) EN (設定確定、電源リセット)
サイズ	35.5×50.5mm
使用周囲温度	0 ~ 45℃
環境規制	RoHS 対応

使いやすさバツグン!!

Wifi が接続できる環境が必要です。Eメールの性質上、メールサーバーや通信経路の障害により受信が遅れたり届かない場合がございます。

標準価格 1台 **10,000円** (税抜)

100台以上はご相談ください。

お試しセット 1式 **15,000円** (税抜)

●WiFit(端子台仕様) 1台 ●DCアダプタ (12V) 1個 ●扉センサー 1個

お問い合わせ先

回路・基板・ソフト・筐体設計 / 試作・検証・量産・コンサル

株式会社 **カイロスキ**

Address 〒649-6124

和歌山県紀の川市桃山市場 516-3

Tel・Fax 0736-79-3820

HP <http://www.kairosuki.com>



セットアップガイド【簡易版】

01 端子台の端子番号1にプラス、2にマイナスを繋ぎ、WiFiを起動させます。WiFiの赤と緑のLEDライトが点灯します。

02 端末の利用可能なWi-Fi一覧から[kairosuki_WiFi]を選択して、SSID Keyに[123456789]と入力します。

03 ブラウザを起動して、URLを入力するところに[192.168.6.1]と入力してWiFi Settingにログインします。ユーザー名に[admin]、パスワードに[123456789]と入力します。

WiFi Setting

Webページアクセス用パスワード設定	
User名	admin
Password	123456789
アクセスポイントモード用WiFiステーション設定	
SSID	Kairosuki_WiFi
SSID Key	123456789
WiFiステーション設定	
SSID	例) Buffalo-G-1234
SSID Key	例) 123456789
DHCP	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
StaticIP	0.0.0.0
Gateway	0.0.0.0
SubnetMask	255.255.255.0
DNS	0.0.0.0
メール送信先アドレス設定	
メール送信先アドレス1	例) aaa@gmail.com
メール送信先アドレス2	例) bbb@gmail.com
メール送信先アドレス3	例) ccc@gmail.com
メール送信先アドレス4	例) ddd@gmail.com
SMTPサーバ設定	
送信元メールアドレス	例) aaa@gmail.com
サーバ名	例) smtp.gmail.com
ポート番号	587
ユーザー名	例) aaa@gmail.com
パスワード	例) 123456789
暗号化されたパスワード認証	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
入力端子1条件設定	
送信条件	例) LOW
メール送信先アドレス1	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
メール送信先アドレス2	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
メール送信先アドレス3	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
メール送信先アドレス4	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
件名	例) 【お知らせ】消耗品の補充の時期です
本文	例) 水質浄化剤の補充を行ってください。 客先: ○○産業 地図: http://goo.gl/maps/aaaaabbbbbb
タイマー機能ON/OFF	<input checked="" type="checkbox"/> 選択した信号条件が、一定時間継続したらメールを発報する
タイマー設定時間	例) 1.0 Sec間メール発報の条件に当てはまったら、メールを発報する。 0.1[S]~999.9[S](0.1[S]刻み)
マスク機能ON/OFF	<input checked="" type="checkbox"/> メール発報の条件が当てはまってから、一定時間メールの発報を行わない(連続してメールを送ることを予防する機能)
マスク設定時間	例) 10 分間メールの発報を行わない。 1[min]~9999[min](1[min]刻み)
入力端子2条件設定	
送信条件	例) LOW
マスク設定時間	1[min]~9999[min](1[min]刻み)
入力端子2, 3, 4条件設定あり	
入力端子3条件設定	
送信条件	例) LOW
マスク設定時間	1[min]~9999[min](1[min]刻み)
入力端子4条件設定	
送信条件	例) LOW
マスク設定時間	1[min]~9999[min](1[min]刻み)
定時発報メール設定	
定時発報機能ON/OFF設定	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
定時発報時刻	例) 23:00
信号状態付加機能ON/OFF設定	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
メール送信先アドレス1	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
メール送信先アドレス2	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
メール送信先アドレス3	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
メール送信先アドレス4	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
件名	例) WiFi定時確認メール
本文	例) 電源が入っており、正常にメール送信できています。
電源電圧印加時メール発報設定	
電源電圧印加時メール発報機能ON/OFF	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
メール送信先アドレス1	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
メール送信先アドレス2	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
メール送信先アドレス3	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
メール送信先アドレス4	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
件名	例) 【お知らせ】WiFiが起動を開始しました
本文	例) WiFiが起動を開始しました。心当たりのない場合は確認して下さい。 場所: ○○営業所 地図: http://goo.gl/maps/aaaaabbbbbb
件名	例) 【火災発生!】防火装置が起動を開始しました
本文	例) 火災が発生したため、防火装置が起動いたしました。直ちに現場確認を実施して下さい。 場所: ○○倉庫 地図: http://goo.gl/maps/aaaaabbbbbb

再読み込みする 設定する

04 WiFi Settingにログイン出来たら、User名とパスワードを設定してください。

05 WiFiの出すWi-FiのSSIDとSSID Keyを入力してください。

06 使用するWi-FiルーターのSSIDとSSID Keyを入力してください。

07 WiFiから送信されるメールを受信するメールアドレスを入力してください。

08 WiFiがメールの送信に使用するメールアドレスとSMTPサーバなどの情報を入力してください。

LOW ▶ 端子番号3と4が短絡時、
High ▶ 端子番号3と4が開放時、

09 WiFiがメールを発報する入力端子の信号条件とメールを受信するアドレス、メールの本文・件名を入力してください。

10 定時発報メールの設定を行います。メールを発報したい時間と本文・件名、受信するメールアドレスを設定してください。

11 電圧印加時のメール発報の設定を行います。メールの本文・件名と受信するメールアドレスを設定してください。

12 設定するボタンを押すと設定完了の画面が表示されます。

13 ENスイッチを押してしばらくしてから緑のLEDは点灯したまま、赤のLEDが消灯すれば正常に設定完了したことが分かります。

14 送信元Gmailのセキュリティ設定で、「安全性の低いアプリのアクセス」を無効から有効にしてください。
※本設定は自動で有効から無効へ変更される可能性があります。こまめにご確認ください。

再設定の際は、
BOOTスイッチを2回連続で押すことでアクセスポイントモードに移行して、WiFiの設定ができるようになります。5秒間押し続けることで、ソフトをリセットして再設定できるようになります。